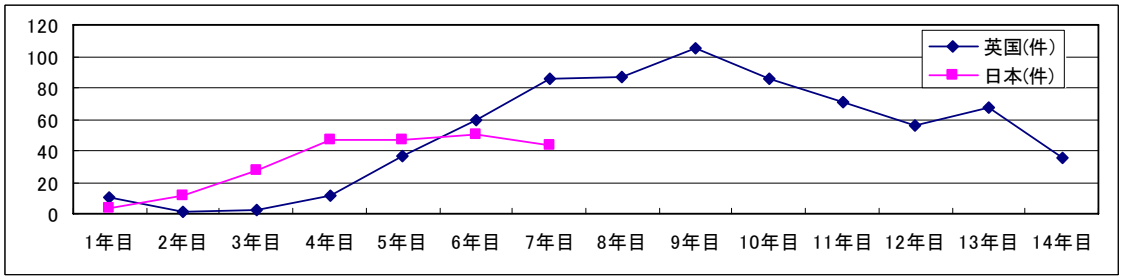
＜参考資料＞

１．日英のＰＦＩ事業数推移（単年度実績）

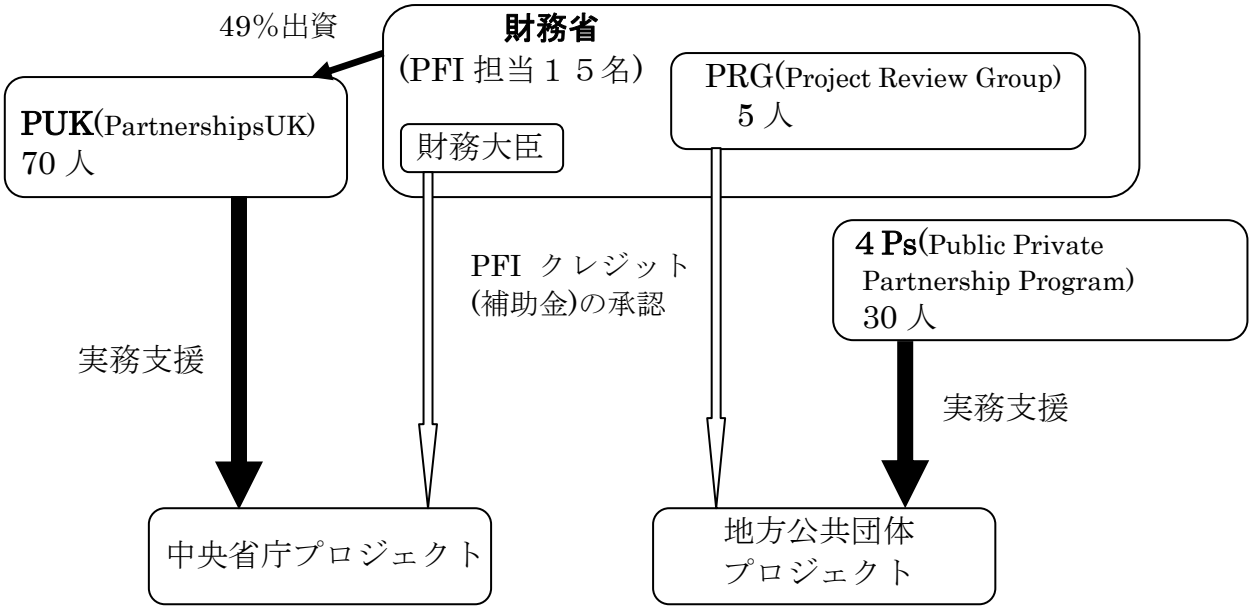


■　英国では、1992 年にＰＦＩを導入。当初は案件数が伸び悩むも、当時の大蔵省が強力な推進体制を整備したほか、入札手続きの簡素化、標準契約書の整備等の改善が行われた結果、年ごとの事業数が 1994 年の 2 件から 1998 年には 86 件に飛躍的に増加(4 年目～7 年目)。

わが国ではＰＦＩ導入後 4 年目で、1 年間の事業数が 47 件にまで増加したが、その後横ばいとなっている。

（出典：内閣府『ＰＦＩ　アニュアルレポート平成 17 年度』をもとに作成）

２．英国のＰＦＩ推進体制



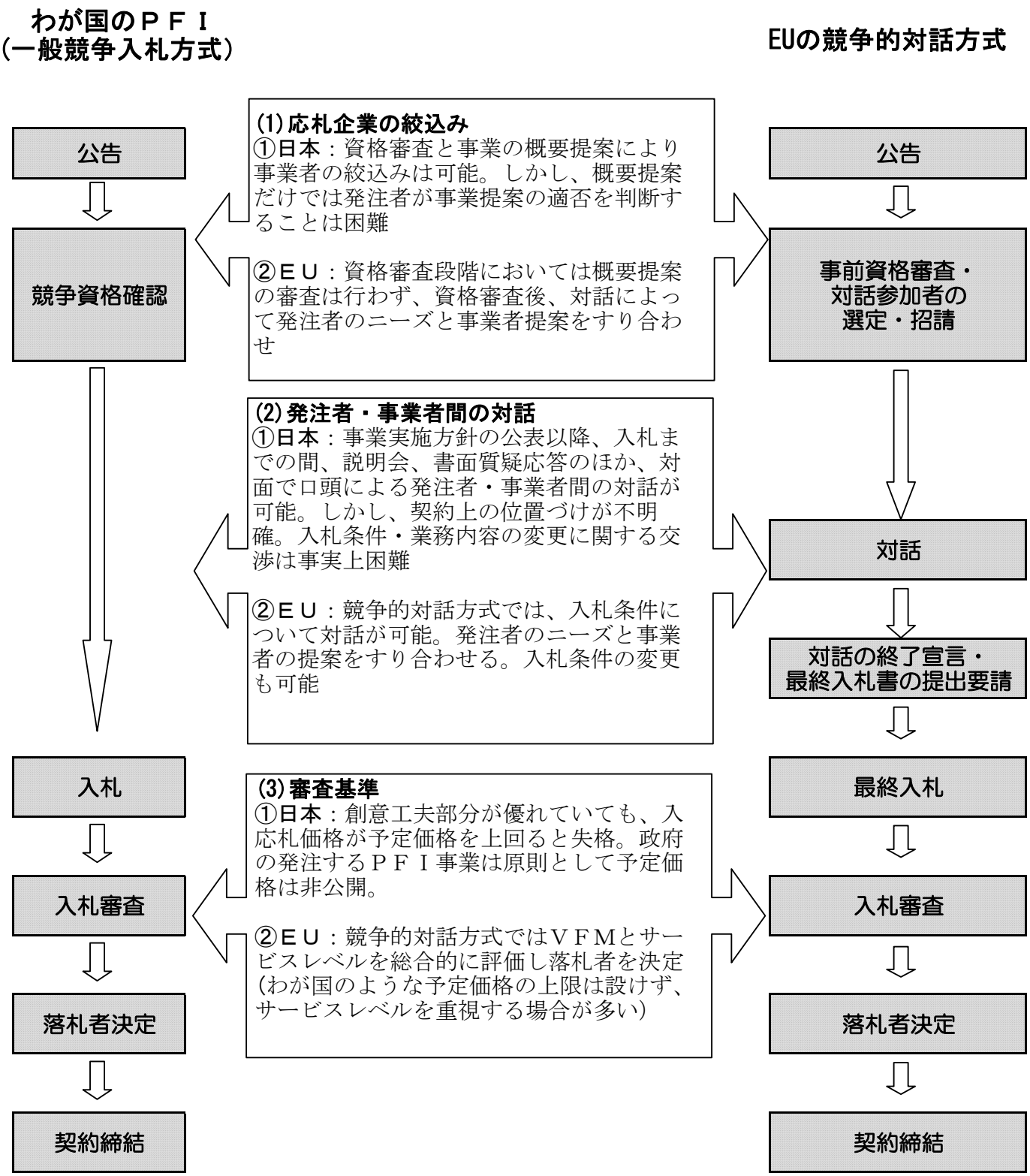
①　英国では、財務省がＰＰＰ/ＰＦＩの政策全般に責任を負うとともにプロジェクトを所管している。

②　ＰＵＫが中央省庁プロジェクトを実務支援し、４Ｐｓは地方公共団体プロジェクトを実務支援する。

③　国・地方のＰＦＩ発注者は、すべて財務省にＰＰＰ/ＰＦＩ事業に対する補助金を申請し、その承認を得ない限りＰＰＰ/ＰＦＩ事業は実施できない（財務大臣は中央省庁に、ＰＲＧは地方公共団体に承認を与える）。

（出典：内閣府『ＰＦＩ　アニュアルレポート平成 17 年度』をもとに作成）

３．わが国ＰＦＩの入札手続上の課題



以　上